

第1回

越谷市下水道事業運営審議会会議録

令和6年7月1日

事務局：建設部下水道経営課

【会議録（概要）】

会議名	令和6年度 第1回越谷市下水道事業運営審議会	
開催日時	令和6年7月1日（月） 午前10時20分～午前11時30分	
開催場所	越谷市役所本庁舎8階 第1委員会室	
件名／議題	<p>【第1回】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員及び職員の紹介 2. 仮議長の選出 3. 仮議長のあいさつ 4. 仮議席の指定 5. 会長及び副会長の選出 6. 仮議長の解任 7. 副会長のあいさつ 8. 諮問書の交付 9. 資料の確認 10. 議長の決定 	<ol style="list-style-type: none"> 11. 議席の決定 12. 会議録署名委員の指名 13. 傍聴者の確認及び報告 14. 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道事業の概要 ・ 越谷市の下水道事業の現状と課題 15. 質疑 16. 閉会 17. 副部長あいさつ 18. 事務連絡
出席委員 (8人)	浅野 要二 委員 宮下 智之 委員 中村 千代子 委員 深井 晃 委員	下田 正樹 委員 小松 幸彦 委員 平野 慎也 委員 小島 清子 委員
欠席委員 (3人)	大沢 昌玄 委員 佐藤 勝 委員	古屋 秀樹 委員
職員	建設部副部長 下水道経営課長 下水道事業課長 下水道経営課副課長 下水道事業課副課長 下水道事業課副課長 下水道経営課主幹 下水道経営課主査 下水道経営課技師 下水道経営課主事 下水道事業課主任	厚沢 光男 山本 剛 篠崎 康雄 村山 雄大 鈴木 正徳 秋葉 友洋 小島 正嗣 秋本 瞳 下田 歩美 川本 龍之介 樋渡 直樹

審議内容等（要旨）

- 事務局 会議に先立ち、以下について了承を得た。
- ・ 議事録作成などのための録音及び写真撮影を行うこと
 - ・ AI 議事録マイクについて、使用方法並びに使用者数上限を設け音声収集の品質向上に繋げること
- 委嘱状交付式を行った後、第 1 回下水道事業運営審議会を開会した。
- 委員及び職員の紹介
- 事務局より定数報告
- 事務局 委員は過半数以上が出席のため、越谷市下水道事業運営審議会条例第 6 条第 2 項の規定により会議は成立している。
- 仮議長の選出
- 事務局 会長選出までの進行を務める、仮議長の選任が行われた。事務局案として、浅野委員が候補として提示された。事務局案を踏まえ、浅野委員が仮議長として選任された。
- 仮議長のあいさつ
- 仮議席の指定
- 会長・副会長の選任
- 委員 仮議長である浅野委員が進行を務め、会長及び副会長の選任が行われた。
- 越谷市下水道事業運営審議会条例第 5 条第 2 項の規定により委員の互選により定めることとなっている。
- 推薦等がなかったため事務局案の提示を行った。
- 事務局案としては、会長はこれまで学識経験者の選出区分のうち、大学関係者の委員の方にお引き受けいただいた経緯があり、前回の審議会では古屋委員に会長をお引き受けいただいた。しかし、過去 3 回審議会において会長を務めた古屋委員は多選である。同じく学識経験者の区分のうち、大学関係者であられる大沢委員を会長とし、副会長は、前回の審議会において各種団体の代表者の委員のうち、自治

会連合会から選出された委員の方にお引き受けいただいた経緯があるため深井委員を副会長とする考えを伝えた。

事務局案を踏まえ、委員の互選の結果、会長に大沢委員、副会長に深井委員が選出された。

○仮議長の解任

○副会長のあいさつ

○市長より諮問書の交付

- 1 公共下水道全体計画の変更について
- 2 越谷市下水道事業経営戦略の改定について
- 3 下水道使用料の見直しについて

○事務局より諮問理由の説明

事務局

本市の下水道事業については、昭和47年10月の公共下水道全体計画策定以来、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上、公共水域の水質保全に資するため、下水道を都市の重要な施設と位置づけ積極的に事業を推進している。現在は、既成市街地の整備が概ね完了し、施設の維持管理を中心とした事業運営を行っている。

現在、本市の公共下水道全体計画では、約4,441ヘクタールを計画面積として位置づけているが、平成27年度の下水道事業運営審議会において、将来的な事業運営の観点から全体計画面積を事業認可区域面積まで縮小すべきとの答申をいただいている。このたび、本市の下水道事業の上位計画である「中川流域別下水道整備総合計画」が見直されることと協調して、現行の事業認可区域に区域外流入の箇所を加えた範囲まで本市の公共下水道全体計画の面積を変更することについてお諮りする。

また、中長期的な基本計画である経営戦略について、国からは策定から5年以内の見直しが要請されており、本市の経営戦略は令和7年度で策定から5年目を迎え改定時期となっている。加えて、策定期間から社会情勢や経営状況が変化し、老朽化した管渠等の更新費用や施設の維持管理費の増加が見込まれること、さらには、人口減少などに伴う排水量の減少により減収が見込まれることなどから、引き続き健全な事業運営を行うため、経営戦略の改定についてお諮りする。

次に、汚水を処理する経費については、汚水を排出する利用者が負担することが原則とされていることから、利用者に下水道使用料を賦課し、経費の負担をいただいている。これまで、事業運営において必要な財源の確保のため、事業の効率化や経費の節減に努めつつ、昭和58年4月の供用開始以来、平成18年度、平成23年度、平成28年度、令和3年度の4回にわたり、段階的に増額改定を行ってきた。前回の令和3年度の改定により、汚水を処理する経費として支出する額を下水道使用料による収入額が上回ったことから、経費回収率が100%を超え、独立採算の経営が実現したが、経営戦略の見直しに伴い、事業規模に見合った下水道使用料の水準を改めて検討する必要があることから、下水道使用料の見直しについてお諮りする。

○配布資料の確認

○議長の決定

事務局

越谷市下水道事業運営審議会条例第5条第3項の規程により会長が議長に就任するが、会長が欠席のため越谷市下水道事業運営審議会条例第5条第4項の規程により会長に代わり副会長が議長に就任することとした。

○議席の決定

○議長より審議会の公開に関する説明

◆議長

当審議会は、越谷市下水道事業運営審議会の公開に関する取扱要綱に基づき原則公開で進める旨の説明を行った。

○傍聴者の確認及び報告

◆議長

傍聴については、「越谷市審議会等の設置及び運用に関する要綱」に基づきホームページで事前に公表し、希望者は0名だったことが報告された。

○会議録署名委員の指名

◆議長

審議会運営規程第4条第2項に定められている、会議録署名委員の指名を行った。

条例の委員選出区分順である、浅野委員、下田委員が指名された。

○議事の上程

◆議長

本審議会は、「1. 公共下水道全体計画の変更について」「2. 越谷市下水道事業経営戦略の改定について」「3. 下水道使用料の見直しについて」審議を進めていくものの、本日の議事は「下水道事業の概要」と「越谷市の下水道事業の現状と課題」であることから、事務局に説明を要請した。

事務局

事務局は資料に基づき議事について説明を行った。説明内容は以下の通り。

(P1) はじめに

下水道事業運営審議会の位置づけおよび諮問事項について説明を行った。

(P2) 1 下水道の仕組み① 水の流れ

生活で使う水（上水）、家庭で使用された水（汚水）、降った雨（雨水）等の水の流れ及びその流れのなかでの下水道の役割について説明を行った。

(P3) 1 下水道の仕組み② 生活排水処理施設について

生活排水処理施設について、下水道などの「集合処理施設」と浄化槽にあたる「個別処理施設」に大別される整備手法について説明を行った。

(P4) 2 埼玉県と越谷市の関係

下水道に関する埼玉県と越谷市の関係について説明を行った。

(P5) 3 越谷市下水道事業の概要

供用開始年度など越谷市下水道事業の基本事項の説明を行った。

(P6) 4 これまでの審議会①（平成27年度）

平成27年度に実施された下水道事業運営審議会における審議の概要と答申について説明を行った。

(P7) 5 これまでの審議会②（令和2年度）

前回の令和2年度に実施された下水道事業運営審議会で答申いただいた内容について説明を行った。

(P8) 5 越谷市の下水道計画図と面積について（污水）

平成27年度の審議会答申を踏まえ、越谷市の污水における公共下水道計画図と面積等を説明した。

(P9) 5 越谷市の下水道計画図と面積について（雨水）

越谷市の雨水にかかる公共下水道計画図と面積について説明した。

(P10) 6 今後の推移①

令和2年度の審議会の答申を踏まえ、越谷市の今後の推移について説明した。越谷市の人口予測は令和4年を最大値としているが、実績は令和3年度を最大とし、減少傾向にあること、令和6年4月時点で予測値より大きく減少しており、この先も減少が予想されること、また、人口の減少に伴い有収水量も減少傾向にあること等説明を行った。

(P11) 6 今後の推移②

更新投資費用について、施設の機能が損なわれないようにしつつ、更新の費用を平準化するため、「越谷市公共下水道ストックマネジメント計画」を策定し、計画的な更新を行うよう運営していること。人口の減少に伴う下水道施設使用者の減少や、昨今の物価や人件費の上昇など、下水道事業を取り巻く環境は厳しくなり、今後安定的な下水道事業運営を継続していくためには、これらの課題に向き合い更なる経営健全化に向けた努力が必要であること等説明した。

(P12) 7 課題と審議内容①

現在の下水道事業の現状・課題を整理し、これからの審議内容について説明した。

(P13) 7 課題と審議内容②

今後の審議内容について説明した。

(P14) 8 審議の進め方

今後の審議の進め方について説明した。

(P15) 9 審議会スケジュール

今後の審議会スケジュール案について説明した。

○質疑応答

◆議長

ご意見、ご質問等があれば発言をお願いしたい。

○委員

今回の審議会の方向性について、下水道使用料に係る汚水の部分と、雨水の対策についても審議、答申をするのか。

事務局

ご認識の通り、汚水はもちろんのこと、雨水の全体計画についても含めた審議をさせていただこうと考えている。

○委員

雨水の対策となると、大雨のような災害の場合もどうするか審議し、答申となるのか。去年の大雨の際、モーターが動いていないなどという話も聞いているが、このようなことも検討していくということによろしいか。

事務局

越谷市下水道全体計画に含まれているものについては審議していくことになる。

○委員

雨水については川に流すので、春日部市にある防災地下神殿の対策がかなり有効のようである。そのようなものを市内にも設けるかということも含めた答申になるのか。

事務局

雨水の計画については河川課と連携しているところもあるので、調整しながら進めたいと考えている。

○委員

レイクタウンの調節池の存在自体についても検討するのか。

事務局

埼玉県で管理している調節池であるが、越谷市全体を含めて考えていきたいと思っている。

○委員

要望として、汚水であれば三郷の終末処理場や調節池など希望者だけでも現場を見学したい。

- 事務局 実施する方向で調整させていただく。
- 委員 先ほど審議のスケジュールを説明いただき、第2回に下水道全体計画の変更、第3回に経営戦略の改定、4回目以降に下水道使用料の見直しとあるが、諮問の内容を踏まえると、その回ごとに結論を出すよう審議していくのか。
- 事務局 審議会ごとに意見を取りまとめていただく予定であるが、審議内容によって難しいようであれば、次回以降に繰り越して会議を進行する形にしたい。
- 委員 資料(P10)の人口の推移について、予測値と実績値が乖離しているが、今後計画を見直す上で予測と実測の乖離は重要視する必要があると考える。一方で世帯数については、増加傾向であり、基本料金のベースとして世帯数も考慮する必要があると考えるが、世帯数について予測値と実績値の乖離はあるのか。
- 事務局 世帯数については、現在増加傾向ではあるが、詳細については、次回の審議会で説明させていただきたい。
- 委員 資料(P15)の審議会スケジュールについて審議会ごとに結論を出すのは難しいのではないかと。全体計画や経営戦略、下水道使用料全てがそれぞれ関係しているのではないかと。
- 事務局 ご認識の通り、各項目については連動している。最初に全体計画について審議し決定を行うが、経営戦略と下水道使用料は密接に関係しているため、合わせて審議していくことになる。
- 委員 全体計画や経営戦略の現状がわからないので、今後の説明を丁寧をお願いしたい。
- 事務局 委員の皆さまにも理解しやすい資料の提供や説明をしていく。
- 委員 諮問内容の下水道使用料の見直しについて、前回の令和3年度の改定で下水道使用料の改定を行い、経費回収率が100%を超えたとい

うことは、下水道の使用料で十分経費を賄えているということかと思う。しかし、今回事業規模に見合った下水道使用料を改めて検討するのは、黒字のため下水道使用料を下げたいのか、もしくはこれから老朽化や耐震化、また大雨等があり、施設環境の維持管理にコストがかかるため、現在黒字でも将来赤字になるから使用料をあげたいのか、どちらの方向性で見直しを検討する必要があるのか。

事務局 将来、施設の老朽化に伴い費用が増加し、人口減に伴う下水道使用料が減少する可能性がある。また、下水道全体計画の見直しにより状況が変化すると考えている。現在の下水道使用料で運用できれば良いが、必要に応じて下水道使用料の値上げをする必要があると考えている。

◆会長 他に意見、質問等がなければ、これで質疑を終了する。次回審議会は11月上旬を予定している。

○閉会

○副部長あいさつ

○事務連絡

次回審議会は11月上旬を予定しているが、改めて会長名で後日お知らせする。

以上、会議録について記載してある内容に相違無いことを確認し、ここに署名する。

令和6年7月11日

越谷市下水道事業運営審議会

署名委員

浅野 要二

署名委員

下田 正樹